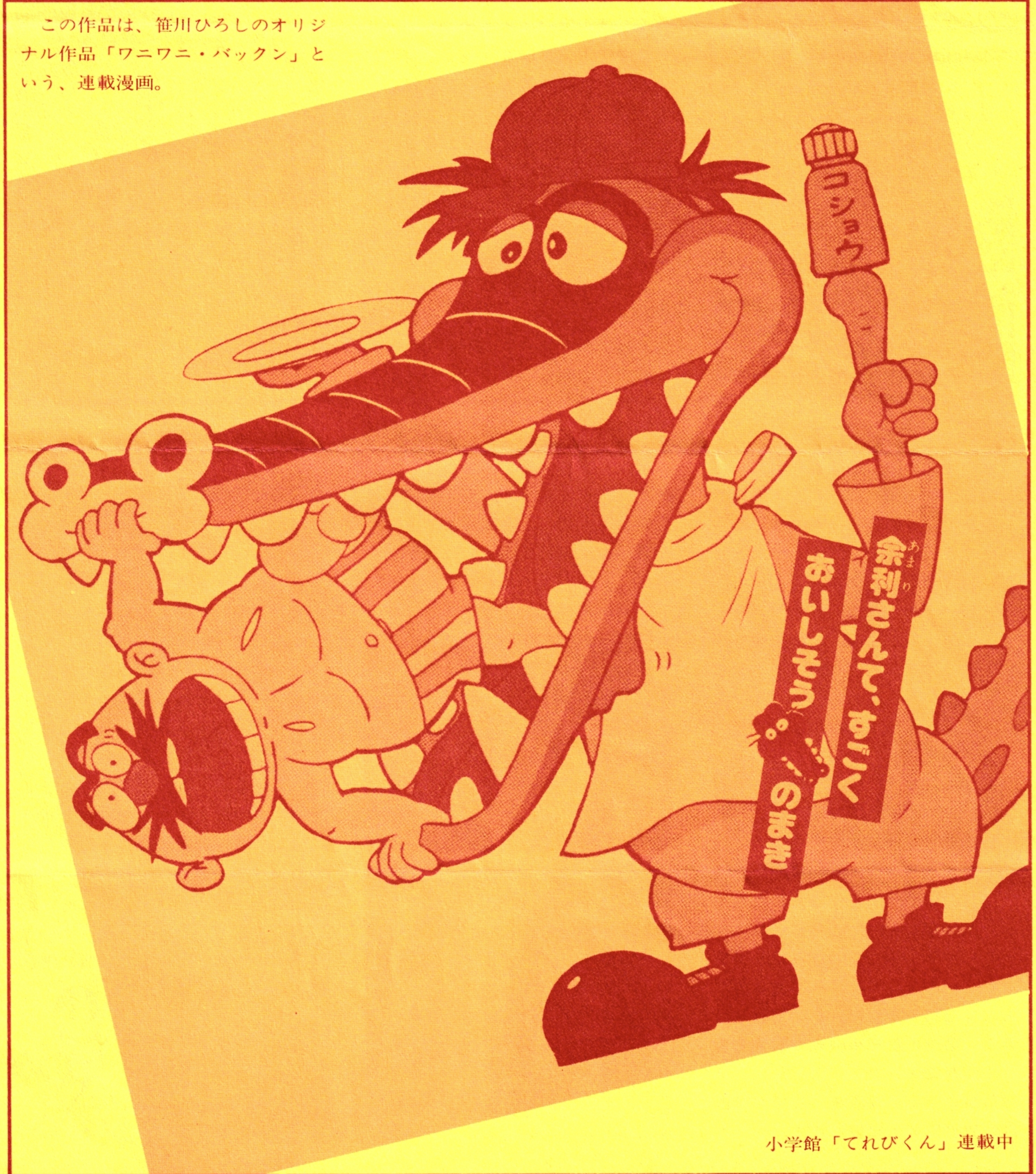
Tatsunoko 竜の子ファンクラブニュース *No.0 Aug 1978*

FAN CLUB NEWS

この作品は、笹川ひろしのオリジナル作品「ワニワニ・バックン」という、連載漫画。



小学館「てれびくん」連載中

THANKS TO YOU!

竜の子ファンクラブ結成大会の御案内

日時／６月11日（日）　10：00～4：30（9：30開場）

場所／新宿安田生命ホール（地下１階）

プログラム／午前の部　10：00～

- 開会のあいさつ
- 竜の子プロ16年の歩み（「宇宙エース」から「テンプルちゃん」まで、アニメ制作にかけてきた竜の子の歴史を語る）
- オープニング集スライド上映

午後の部　13：00～

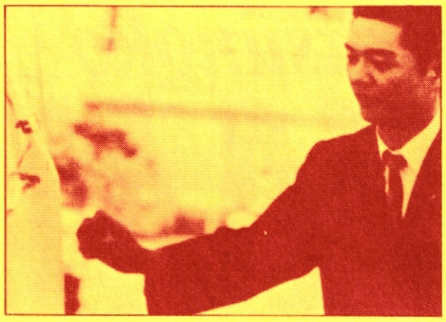
- 「科学忍者隊ガッチャマン」の世界スライド上映、制作スタッフの紹介
- 作画実演
- ファンクラブ結成アピール
- ファンクラブ入会受付

ご入会、誠にありがとうございます。竜の子プロに、多くの人達の御支援をいただけるとは、夢にも思いませんでした。テレビアニメが普及し、ようやく市民権を得たという証左でしょうか。私達にとっても、このブームは、喜びと同時にとまどいを受けざるを得ません。アニメ製作というものは、華やかな、花形産業では、ありません。原始的な苦しい仕事であります。夜・昼なく時間に追われ、１枚１枚の絵を描き積み重ねて作品を作っていくのですから。

それが、時代の要請か、皆さんの前に出てまいりました。今まで、秘密主義の竜の子、ファン無視の竜の子、といわれてまいりましたが、ここに、その全貌をあらわします。

竜の子プロの輝しい16年の歴史に汚点を残さないで、永遠に存続さすために頑張りたいと思います。

皆さんとともに日本のアニメーションを担って、文化の創造につとめたいと思います。



左の写真は
（６月11日、ファンクラブ結成大会のプログラムです。）

全国ロードショー

竜の子プロは、創立16年目にして初めて、劇場用映画「科学忍者隊ガッチャマン」を製作いたしました。初めてということは、すべてがとまどいの連続でした。画面の流れも、テレビのそれとは違っており、まして、広告、宣伝に関しては規模も発想も違っており、混乱いたしました。

しかし、私達は、竜の子の作品を愛して下さるファンならば、私達の制作意図を理解していただけると、ただ、それだけを信じ、制作、興行に踏切ったのです。私達には、自信と自負があります。現代の五人の若者が、死を賭するまでの生を謳いあげたこの作品は、どんなものにも劣ってはいないのだということを。

とにかく、初めての試みは、皆さんの暖かい御支援により、成功のうちに幕を閉じました。そして私達は、第二、第三の劇場用映画を製作していく所存であります。

最後に、この映画を、志半分で倒れた故吉田竜夫に捧げます。

ガッチャマン、アメリカに進出

既に、御存知の方も多いかと思いますが、ガッチャマンが、米国ＡＢＣ系ネットで、放映されます。それに伴い、吉田社長、上野部長、宮本貞雄、鳥海永行のスタッフが８月20日から渡米いたしました。

㊟７月15日、渋谷東急レックス前に並んでくれた皆様、その時写した写真ができてファンクラブ事務局にあります。一度、見にいらして下さい。

このフィルムの国内放映は未定ですが、いつかきっとファンクラブ集会などで公開したいと思っています。

竜の子アニメフェスティバル

８月４日～９日　八王子
８月11日～16日　大宮
８月19日～23日　宇都宮

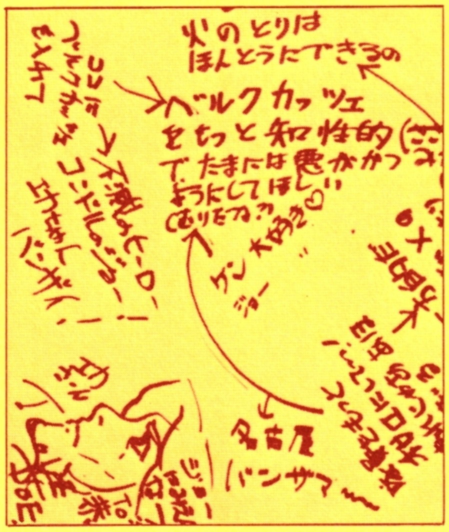
上記のスケジュールで、竜の子アニメーションフェスティバルが開催されました。展示会とともに、九里一平、笹川ひろし、宮本貞雄、原征太郎、天野嘉孝、下元明子等竜の子プロ制作陣のサイン会、懇談会も同時に行なわれ、各会場は、多勢の人がつめかけ盛況でした。私達は、この展示会を全国の人達に見てもらいたいのです。

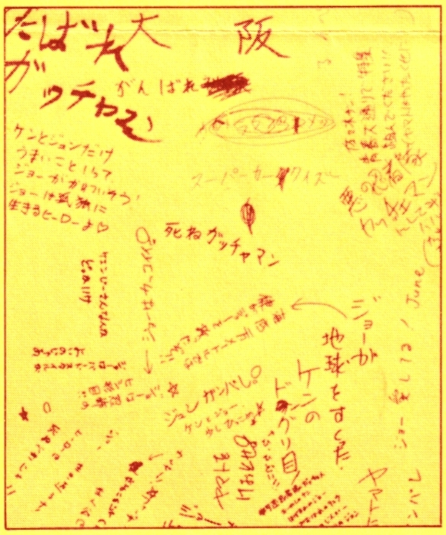
全国の西武デパートで、展示会を開きたいと思います。スケジュール的なことは未定ですが、地元の西武に問い合せて下さい。

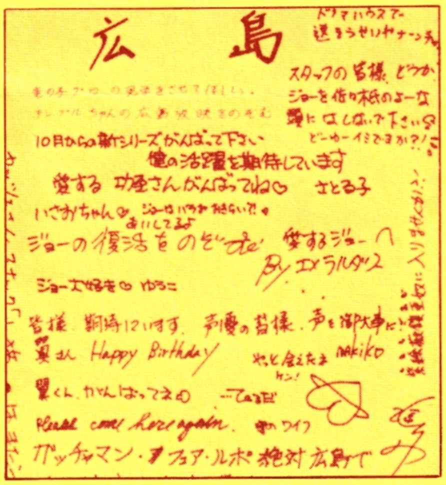
全国キャンペーン

7月1日～14日の14日間、竜の子プロは、ガッチャマン全国ロードショー封切り、ファンクラブ結成記念全国キャンペーンを展開しました。このキャンペーンには九里一平初め、竜の子のスタッフが同行しました。

下記に掲載するのは、その時の全国からのメッセージです。







事務局だより

基本的な位置づけ

財政的に非常に苦しいのです。これは事実です。その中で皆様に満足していただけるか不安です。しかし私達は、精一杯やります。是非熱い応援をお願い致します。

本来ファンクラブは会社主導ではいけないと思います。会員一人一人が参加し、運営していく上での原動力となってほしいのです。

その意味でも、組織的に竜の子プロとは切りはなします。最終責任は竜の子プロが負いますが、ある程度事務局の自主性を重んじたいと思います。それがないと自由に活動ができないでしょうから。

これからの活動予定

①８㎜フィルムフェスティバル

年１回、自主制作アニメの審査、発表会を行いたいと思います。

②夏期セミナー〈合宿〉

制作スタッフと、二泊三日程度の合宿をして、制作上の問題、裏話等を、話し合いたいと思います。

③ミニ上映会〈常設館〉

月１回程度のミニ上映会を行い、上映会の後、その作品についてのティーチインを行いたいと思います。見るだけでなく参加する上映会を計画しております。

同時に、未公開、パイロットフィルムの上映、新作発表を行ないたいと思います。

④催事および集会

年２回程度の集会を考えております。大運動会、クリスマスパーティとか、ファンのみなさんと共に楽しく遊べるようなことを考えております。

⑤展示会

全国的な規模で展示会、講演会、サイン会等を開催したいと思います。

その他、竜の子山荘、宿泊、上映館施設のある竜の子会館の設立等、活動の夢はどんどん大きくふくれあがっていきます。

ファンクラブはみなさんが参加するものです。やってもらいたいことなど、どしどし御連絡下さい。事務局員の頭の中は、非常に柔軟ですから。

会報

極めて簡単な会報を隔月に発行致します。少ない予算で、少ない部数ですので単価的に高くついてしまいます。しかし、内容は、商業紙に負けない物を目指します。ここでは、制作会社の本音、公的発言できないものを語りましょう。同時に、私達が何を考え、何を求めて、アニメーションを制作し続けているのか、その辺をわかっていただければ、幸いに存じます。

お知らせ

竜の子ファンクラブの歌の詞を募集します。10月末日までに、ファンクラブ事務局まで御応募お願い致します。

尚選考は、竜の子プロで行ない入選された方には、記念色紙をさし上げます。

事務局員の横顔

上の写真はファンクラブ事務局の看板娘。若輩ながら一生懸命やりますので、可愛がってやって下さい。

右：斉藤わか子です。名前の通り若若しく素直な気持を失わず、皆さんとやっていきたいと思っています。

左：山本真智子です。皆さんと同じく竜の子アニメの大ファン。近い気持ちで色々と語っていきましょう。

TATSUNOKO FAN CLUB NEWS AUG. 20, 1978／VOL.1. NO.0 Published TATSUNOKO FAN CLUB.,
〒185 22-12 3-CHOME, MINAMI-CHO KOKUBUNJI-CITY TOKYO, JAPAN.
AYAKO YOSHIDA publisher / AKIRA INOUE editor / MACHIKO YAMAMOTO asistant editor / HIDEKI SUGISAWA art director.
©1978 TATSUNOKO

編集後記

▶遅れて、申しわけありませんでした。面を向いて、土下座して、ペコペコあやまりたい思いで一杯です。悪しからず。

▶表紙の絵は、笹川ひろしのオリジナル作品、小学館「てれびくん」連載のものです。

▶ファンクラブなるものが初めてならば、会誌の編集なんてのも初めてで、とにかくオロオロするばかり。こんなことではいけませぬと、皆さんに楽しんでもらえる企画、そういうものを創りたいと励んでいます。御意見、御希望、どんどんお寄せ下さい。